

つたえるけん

Goto city

五島市中

しまだから
できることがある
しまでしか
できないことがある
いま五島には
日本全国から
しまの魅力に惹かれて
素敵な人たちが
集まっています



五島の伝統芸能が新しいアートとして進化した「女チャンコ」

子どもたちが残れる五島にしたい

五島には「チャンココ」という古い念仏踊りがあります。大きな笠をかぶり、腰巻をつけ、太鼓を叩きながら踊るもので、各地区の青年団で受け継がれています。それをバリ舞踏家とのコラボレーションによって新しく「女チャンココ」として作り上げ、話題になっているのが、五島市のNPO法人BaRaKa代表の片岡優子さんです。片岡さんは、地域活性化イベントで、五島を元気にする企画が3年連続で採択されるなど、まちおこしのキーマンの存在で、全国に五島の魅力を発信しています。



五島の活性化に取り組むNPO法人BaRaKaのメンバー



高浜海水浴場にて 写真左から 宮崎春生さん、片岡優子さん、宮崎光一さん

さとうのしお
佐藤さんご夫妻が、半泊湾のきれいな海水を汲み上げ、じっくりと時間をかけて造る自然塩。天日に干して完成する「さとうのしお」はミネラルたっぷり
150g/400円
五島市戸岐町半泊1224 ☎0959-73-0383

コテージ・スモーキイ
佐藤さんご夫妻が経営するコテージ。山と海がすぐ目の前にある半泊は、都会の喧騒からは想像が出来ない自然と静けさに包まれて
1泊1人8,000円

江上天主堂
奈留島
旧五輪教会堂
久賀島
宮崎鍛冶屋
高浜海水浴場
五島市
桶光
福江島
福江港
たゆたう。
鬼岳
大瀬崎灯台
片岡さんオススメの当地お菓子
雲泉堂
「手焼 するめせんべい」
福江城(石田城)跡

鍛冶職人 宮崎春生さん
福岡の鍛冶工場で修業後、2009年に五島市に戻り「宮崎鍛冶屋」を開業。刃物修理のほか、椿包丁などを製造・販売

NPO法人BaRaKa代表 片岡優子さん
地域活性化の活動拠点として「体に良いもの」がコンセプトの雑貨&カフェ「たゆたう。」を開業し、五島を良くしたいと活動する人たちの交流の場にもなっている

桶光
五島市岐宿町中嶽1073-1
☎080-1703-9558

宮崎鍛冶屋
五島市岐宿町川原3553-1
☎0959-82-1440

雑貨&カフェ たゆたう。
五島市東浜町1-10-1
☎0959-88-9444

築城当時は城壁の三方を海に囲まれた海城で、文久3年(1863)6月に完成したが、まもなく明治維新となり、築城して9年で解体された

五島名産するめの粉が入った素朴な味のせんべい。包装に描かれたするめのイラストがユニーク。12枚入り/700円
五島市末広町7-14 ☎0959-72-3029

つたえるけん
五島市

右記写真にスマホやタブレットをかざすとAR動画が見られます!

step1
まずは無料のARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロードしましょう
App Store
Google Play Store
COCOAR2 検索
COCOAR2

step2
「COCOAR2」を起動し、上記写真(P11の)バンダマークのついたレシポの写真も動画が見られます。読み込んでみましょう。画像を感知すると、自動で動画が再生されます。読み込んだあとは、端末をかざしてなくても見ることができます

「よかテレ」でもチェック!

Present!
「さとうのしお」
P15の読者プレゼントの応募方法で、動画の中に出てくるキーワードを書いて応募ください。抽選で5名様にプレゼントします

Scan!

※一部対応していない機種もあります

もしもメンバー。五島の海水で造る「さとうのしお」は、全国で話題になり、新たな形で五島の魅力を発信しています。「文化は、その土地に種をまく人が増えないと根づかない。時間はかかっても、種をまくことを諦めたらダメだと思っんです」と片岡さん。五島の澄み切った青空の下、片岡さんの未来への種まきは続きます。

片岡さんは、都会に憧れ、進学を機に上京したものの、都会で「何か」を見つめることができず、2010年に帰郷。改めて五島の良さを実感する中で、「自分は五島のために何をすればいいのだろう?」と自問自答した結果、五島市民の文化向上のために活動を起こそうと一大奮起し、有志とともに映画の自主上映やコンサート、イベントの企画を始めました。現在は、雑貨&カフェ「たゆたう。」を拠点に活動の輪を広げています。「元々、自分が楽しむより人を楽しませたい性格。特に今は、五島のため、という思いが強いですね。子どもたちが残れる、残りたいと思うような五島にしたいんです」。

そんな片岡さんの活動を応援しているメンバーに、山内診療所の宮崎昭行医師とその家族がいます。宮崎医師は17年前に長崎市から移住し、地域医療に携わりながら、馬や牛を飼い、田畑を耕して、自給自足の生活をしています。2人の息子さんも進学や修業で一旦島を離れましたが、今は五島で鍛冶職人と桶職人として自立しています。それぞれの道で自分らしく生きています。片岡さんは「本当の豊かさを体現しているご家族。幸せは物質じゃない。そんな生き方ができるのが五島だということを感じたい」と力を込めます。

カリブ海のセント・トーマス島から移住してきた佐藤洋夫さんご夫妻も頼